

# 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察 防除情報第1号

## きゅうり ミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミの 防除対策について

きゅうりのミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミの発生が多い傾向です。ミナミキイロアザミウマはキュウリ黄化えそウイルス(MYSV)を、タバココナジラミはキュウリ退緑黄化ウイルス(CCYV)を媒介します。周辺圃場への拡散と次期作付への侵入を防ぐため、下記に留意して防除指導をお願いします。

### 記

#### 1. 発生状況

##### (1) ミナミキイロアザミウマ

4月上旬の巡回調査(8筆)の結果、寄生葉率は7.5%(平年2.9%)、発生圃場率は75.0%(平年37.0%)と、平年より多い発生であった(図1、2)。

##### (2) タバココナジラミ

4月上旬の巡回調査(8筆)の結果、寄生葉率は10.4%(平年2.1%)、発生圃場率は50.0%(平年36.4%)と、平年よりやや多い発生であった(図3、4)。

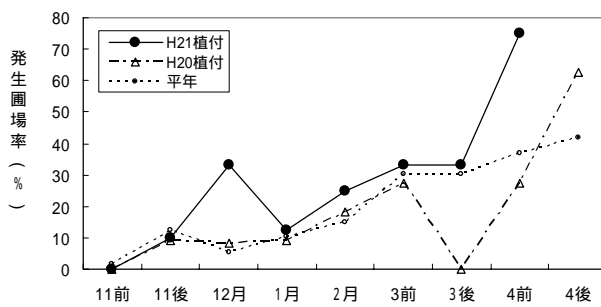


図1 ミナミキイロアザミウマ 発生圃場率の推移(巡回調査)

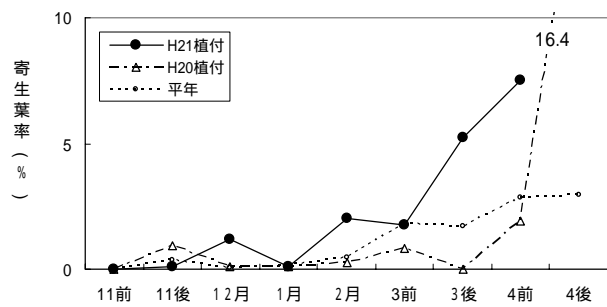


図2 ミナミキイロアザミウマ 寄生葉率の推移(巡回調査)

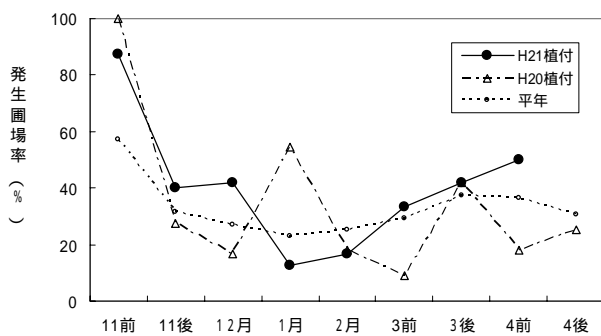


図3 キュウリコナジラミ類 発生圃場率の推移(巡回調査)

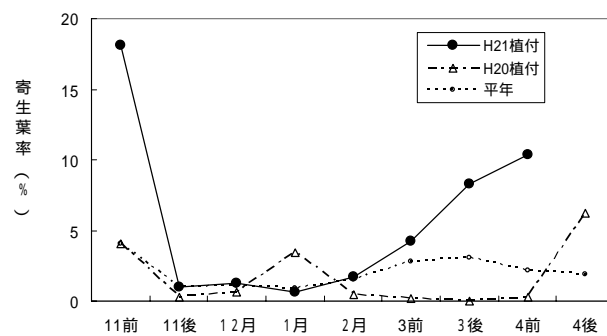


図4 キュウリコナジラミ類 寄生葉率の推移(巡回調査)

#### 2. 防除上注意すべき事項

- (1) 栽培終了時に密閉陽熱(作物体枯死後、10日間以上、気温50℃での蒸し込み)処理等によって死滅させ、施設外への分散を防ぐ。
- (2) ハウス内および周辺の雑草は生息・増殖源となるので除去し、環境衛生に努める。
- (3) 育苗期の防除を徹底し、寄生株の本圃への持込を防止する。

- (4) ハウス開口部に防虫ネット(0.5mm内外)等を設置するとともに、紫外線カットフィルム等の物理的防除法を積極的に活用して、施設内への侵入を防ぐ。
- (5) ミナミキイロアザミウマは青色(もしくは黄色)、タバココナジラミは黄色の粘着トラップに誘引されるので、施設内に設置して媒介虫の早期発見に努める。
- (6) 強い薬剤抵抗性を持つことが報告されているので、防除薬剤の選定にあたっては十分留意する。また薬剤の感受性低下を防ぐため、同一成分及び同一系統薬剤の連続使用を避け、ローテーションで使用する。

---

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027